

半田はな子さんと知る、高齢期のサービスいろいろ⑤

医療や介護のサービスと地域の支援活動が互いに連携しながら、半田はな子さん（82歳）の在宅での暮らしを支えるしくみをご紹介します。

半田はな子さん（82歳・一人暮らし）からの相談

はな子さんは、かかりつけ医の待合で半田市版『私の事前指示書』を手にとってみたものの、よく分からなかったので、問合わせ先の保健センターを訪ねました。

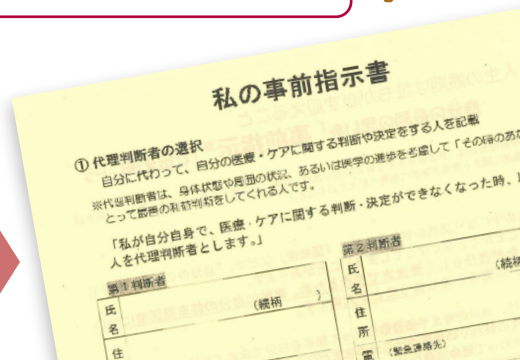
はな子さん……事前指示書は自分の終末期医療についての意思を書くもの
ということだけど、実際にどう書いていけばいいのかしら。

保健師……では、一緒に事前指示書をみていきましょう。



事前指示は、自分の“もしものとき”どうしてほしいかを書くものです。もし自分で意思表示ができないような状況になったとき、自分に代わって誰に医療やケアについて決めてもらいたいと思いますか。

近所にいる弟夫婦か、遠くにいる子どもたちかしら。



半田市版「私の事前指示書」は、半田市立半田病院、半田市包括支援センター、半田市役所高齢介護課、半田市保健センターに設置してあるほか、市ホームページからもダウンロードできます。

その方達と自分の“もしものとき”の話をしたことはありますか。

冗談半分で話をしたことがあるぐらいかしら。

事前指示書は記載することが目的ではなく、ご家族など大切な方々と自分の最期について十分に話すきっかけにしてもらうためのものです。自分のことを自分で決められるうちに、しっかり話し合いができるといいですね。ご家族の方も、はな子さんの意思のもと医療やケアを決めることができるので、安心できますよ。

もし、病気が治る見込みはないと言われたときに、今のはな子さんなら、延命治療を受けたいですか、受けたくないですか。

う～ん。それは今、答えられない。全部、決めないとダメなのかしら。

無理して書く必要はありません。現時点で書けるところから書いてください。気持ちが変わった場合には、書き直していけばよいのですよ。

自分の最期を考えるのって気が重いし、簡単ではないわ。だからこそ、“もしものとき”どうしてほしいかという今の私の意思を家族に伝えておくことって自分らしく生きるため、そして家族のためにも大切だってことが分かったわ。